

環境経営論 2005年度個別感想集

平成17年8月3日 AM
東京外国語大学 担当講師 小野木正人

1. 一番印象的だったこと

- BS(ブレスト)の作業。思った以上にどんどん意見が出て驚いた。(10)
- BS の批判せずに意見を出すというやり方が良かった。普段の会話など、他の場合でも使えそう。(3)
- 自分から考え、自分から解決策を練るという、今までにない講義内容。
- アイデアシート。
- BS では、最初はありきたりの意見しかでないが、だんだん画期的なアイデアが出てきた。考えることからすべてが始まる。

2. 得たもの、気づき

- 意識を高く持てば、色々なことができるということ。
- 何がどう影響するのかを知るには、きちんとした調査が必要。
- 発想の柔軟性の大切さ。BS でも、後になるほど意見が出にくくなったので。
- コピー用紙の削減は、実現できそうだ。(5)
- 東京外国語大学の廃棄物について考えさせられた。
- 学校でも常にエコを気にするようになった。(2)

3. その他の感想

- やはり一人で悩みを抱え込まず、全員で意見を出し合うべきだ。
- BS では、つい批評に近いものが口に出てしまった。「練習」や「チームとしてのまとめ」が大切だと思った。
- 目標設定も、環境影響評価も、項目がないと切り捨てられてしまう側面があるのが気になった。
- 身近な生活の中に環境のためにできることがたくさんある。この授業の成果を学校に報告したら面白いと思う。
- 効果について、人により意見が違ったら正しい判定ができるのか、うまくまとまるのか疑問に思った。
- BS で今いちひらめかなくて残念だった。
- 諸外国の環境対策状況をもっと知りたい。